

広田 博志 様

ようやく暑さも一段落したようですが、お変わりございませんでしょうか。
お返事が大変遅くなり、誠に申し訳ありませんでした。
心からお詫び申し上げます。

8月22日付けで広田様からいただいたお手紙を拝見いたしますと、これまでのお話し合いの中で、真意を伝えきれていない部分があるかもしれません。

我々の説明に不十分な点や、誤解を招くような表現があったとすれば申し訳ありません。

ただ、実際に今年度、三課題のうち、「医療的ケア」に関しては、チューブの再挿入を実施することや明理さんの状況を踏まえた他の対応策などについて、医師を交えた医療的ケア運営協議会の場などにおいて具体的な検討を行っております。

「通学方法」に関しては、明理さんのお母様の勤務先に近い所沢おおぞら特別支援学校への区域外就学も含めた対応について、また「学童保育」「福祉サービス」等の利用などについては情報収集を始めております。就学先の問題と併せて川越市と一緒に考えてまいりましょう。

しかしながら、これらの課題の解決にあたっては、まず明理さん本人の状況を十分把握した上で考えていかなければなりません。我々も解決に向けて精一杯努力いたしますので、広田様にも一緒に知恵を出し合っていただければと思っています。

就学猶予の願出書を提出されたことは承知しておりますが、我々といたしましては、是非とも明理さんの来年度の就学に向けたお話し合いを続けていきたいと願っております。つきましては、次の2点について御検討をお願いいたします。

○ 川島ひばりが丘特別支援学校及び所沢おおぞら特別支援学校の学校体験

明理さんがチューブを抜いてしまい再挿入が必要となることについて、保育所と家庭での状況に差があることは理解しております。一方、学校生活において、どのような状況になるのかわからない面もありますので、学校体験の機会を設けて、明理さんの行動の様子を見ながら、どのような手立てが必要となるのか、広田様と認識を共有しながら考えていきたいと思います。

また、川島ひばりが丘特別支援学校のほか、所沢おおぞら特別支援学校への区域外就学について併せて考えていきたいと思えます。

日程や体験のために必要なことについて、具体的な相談を進めさせていただきたいと思えます。

○ 主治医の先生への3者（広田様・川越市・県）による医療相談

6月に医療相談に伺った際に、「就学については保護者の方とよく相談するように」とのお話しをいただいております。今後の医療的ケアの進め方や登下校でのスクールバス利用の可能性について等の所見を伺いたいと考えています。

主治医としての御意見を伺い、就学について広田様と認識を共有しながら考えてい

きましょう。

明理さんの早期就学に向けて、広田様と県と市が、知恵を出し合って解決できることは必ずあると考えております。まずは、上記のことについて話し合いをさせていただきたいと考えております。

誠に申し訳ありませんが、県議会開催中のため、10月6日以降で御都合のよい日時等を御連絡いただければと思います。

お返事をお待ちしております。

平成23年9月22日

さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県教育局県立学校部

特別支援教育課長 佐藤 裕之

